



ふくしま

市議会だより

Vol.203

今回の主な内容

- 市政を問う代表質問…………… 2
- ここが聞きたい一般質問……… 4
- 常任委員会・
 予算特別委員会分科会…………… 6
- 予算特別委員会の概要…………… 7
- 議案等の議決結果…………… 8
- 新庁舎西棟建設
 調査特別委員会ほか…………… 10



3月定例会議を開きました <3月2日~3月25日(24日間)>

3月2日 開会

本 会 議

- ・ 市長から議案51件、報告1件提出後、議案についての提案理由を説明
- ・ 先議議案の審査、採決
(期間中追加議案9件)

3月6日~10日

本会議(代表質問)

各会派の代表6人が登壇し、施政方針・市政運営に関して質疑、応答

2~3ページ

3月10日~12日

本会議(一般質問)

11人が登壇し、議案や市政の諸課題に関して質疑、応答

4~5ページ

3月13日~23日

委 員 会

・ 議案や請願・陳情を審査

予算特別委員会

・ 所管分の予算議案を審査

6~7ページ

3月25日 閉会

本 会 議

・ 各委員長から審査の経過と結果の報告後、討論、採決
・ 追加議案の審査、討論、採決

8~9ページ

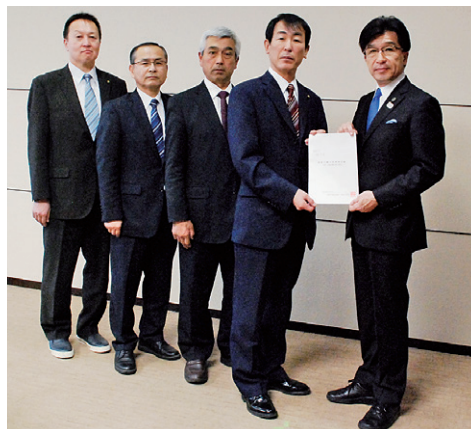
議会トピック



議会からの 政策提言

●新しい西棟の建設に関する提言

(新庁舎西棟建設調査特別委員会)



市長へ提言書を提出しました。

政策提言は
こちらから



※主な内容は10ページをご覧ください。

令和2年度一般会計予算の概要

当初予算額：1,170億円

除染関連事業費を除いた当初予算額は、
1,066億7,180万円

福島市の新ステージへ

主要な9のプロジェクト

1. 安全・安心なまちづくり (計23事業) 119億6,484万円
2. オリンピック・パラリンピックと遺産の創出 (計13事業) 12億7,190万円
3. 古閑裕而を活かしたまちづくり (計9事業) 2億1,490万円
4. 子どもたちの未来へ (計19事業) 142億2,826万円
5. 「健都ふくしま」の創造 (計13事業) 21億8,854万円
6. まちのにぎわいと活力 (計31事業) 30億1,595万円
7. 風格ある「県都ふくしま」 (計24事業) 35億8,089万円
8. 誰にでもやさしい共生社会の推進 (計8事業) 4,340万円
9. 市政運営の新ステージ (計15事業) 1億5,321万円

市政を問う!

代表質問Q&A

真政会



令和元年東日本台風の

対応の検証と改善

萩原 太郎

Q

令和元年東日本台風における対応についての検証と新年度予算を含めた今後の改善点は。

A

防災情報の収集と発信、避難所の選定と運営、被災者支援、治水や流域の浸水対策、災害対策本部および現地本部の運営の5項目に集約の上、必要に応じ、新年度の予算措置を講じるとともに改善策の検討を進める。

また、国や県と

緊密に連携し、災

害情報の収集や受

援および応援体制

を強化する。



その他の主な質問

① 新型コロナウイルス感染症による市民生活、経済および教育現場への影響と対応

② 現在の企業誘致可能な工業団地の状況と今後の工業団地造成の取り組み方針

③ 東日本大震災および原発事故からの復旧・復興の現状認識と復興・創生の取り組み

④ 農林業の再生と振

興に向けた重点的



真結の会



中期的視点での財政

健全化に向けた取り組み

真田 広志

Q

自治体経営の視点から財政の健全性を確保すべく、一定の財政規律を設けるなど、市独自の財政運営指針を定めるべきでは。

A

財政健全化を見据えた指標の目標値として、行政改革推進プランにて、実質公債費比率8%未満の堅持というガイドラインを持っている。

本市の平成30年度決算の実質公債費比率は1.1%、将来負担比率は18.2%と国の基準を大きく下回っており、十分適正な範囲にあるが、今後もガイドラインに基づき、市債の適正運用が必要と考える。

事業実施にあたっては、国や県支出金などの積極的な活用や交付税措置のある有利な市債

を活用するとともに、事業費の抑制や見直しを図る。



また、課税客体的確な把握と収納率向上や税外収入の拡充により、積極的な財源の確保に取り組み。

その他の主な質問

① 連携中枢都市圏の圏域マネジメントの考え方および本市の方針

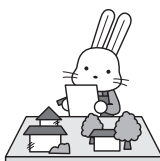
② 福島駅前・交流集客拠点施設整備における民間ノウハウの活用手法

と誘致体制の整備手法

③ 新型コロナウイルス感染症への対応状況と今後の発生

段階別対応

④ 地域防災の課題を踏まえた各計画の見直しと今後の対応



市民21



感染症対策の新年度

予算措置と主な対策

山岸 清

Q

新年度における新型コロナウイルス感染症対策の予算措置と想定している主な対策は。

A

国からの方針に応じ、対策に必要な財政措置を講じる。これまでも適切な情報提供や相談体制の充実と強化を図ってきた。

また、政府の基本方針を踏まえ、当面の対策の方針を取りまとめ、市長メッセージを発し、市民・事業者・団体への感染拡大防止の行動をお願

いした。

今後も医療機関との連携による医療体制を整備し、患者の搬送や積極的疫学調査の体制を整えるとともに、市民の生命と健康を守り、生活や経済に及ぼす影響が最小となるよう対策を講じる。



その他の主な質問

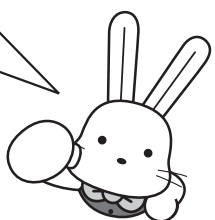
① 移住・定住人口拡大につながる政策の優先

② 避難所の配置などに関する方針および今後の課題、新年度の進め方

③ 田植えの時期などの水不足への対策と対応

④ 待機児童解消をはじめとする日本一の子育て環境

づくりの促進に関する予算措置



議員が、各会派を代表する6人の議員が、会派の理念や方針をはじめ市政運営に関する質問を行いました。代表質問の中から、質問および答弁の要旨を1件、その他の質問を項目のみ4件掲載しています。

日本共産党



公立公的病院の再編統合

に関する国の公表

小熊 省三
おぐま しょうぞう

Q 国は、公立公的病院の再編統合を一方的に公表したが、市の見解は。

A 現在、福島県地域医療構想において、団塊の世代が全て75歳以上の後期高齢者となる2025年を見据え、必要な病床数を推計し、効率的な医療提供体制の実現のため病床の機能分化と連携に関する協議が進められている。

今回の公表は、地域の実情を踏まえることなく、一方的に国が公表したものであり、少なからず医療現場にて混乱が生じたことから、地域に配慮した丁寧な対応と情報発信が必要であったと考える。



その他の主な質問

- ① 市営住宅における連帯保証人の要件緩和の周知
- ② 農業者・商工業者への営業損害賠償に対する東京電力の対応への見解
- ③ 政府の東日本大震災の追悼式を2021年で最後とする方針への見解

④ 新型コロナウイルス感染症による影響を調査・把握し、

国に中小業者への支援を求めらるべき



公明党

若者の市政への



参画の機会
丹治 誠
たんじ まこと

Q 若者が主体的に市政に参画する機会を今後どのように作っていくのか。

A 新年度においても、総合計画Yu-me（ゆめ）会議を開催し、多世代かつ多様な立場の市民から、まちづくりに対する思いや意見をいただく予定であり、市民協働の理念や協働のまちづくりへの機運が高まるものと考えている。

また、まちなか交流スペース運営協議会に、女性や市内の学生や生徒を委員として加え、若者がまちづくりに参画する機会を積極的に創出するとともに、郡山市およびいわき市と連携し、わかもの政策討論事業で高校生を対象とした政策提言会議を開催する。

その他の主な質問

- ① 危機管理における新年度の予算編成方針
- ② ごみ減量大作戦の今年度事業の成

果分析と新年度の事業内容

③ 高齢者生涯活躍プロジェクトの新年度の取り組み

④ 映画などのロケ誘致に向けた本市の強みとフィルムロケ誘致支援事業の概要

社民党・護憲連合



新たな交通モードの
社会実験
梅津 一匡
うめつ かずまさ

Q 公共交通が行き届いていない地域における小さな交通による社会実験の事業内容と今後の展開は。

A 地域住民アンケート調査結果などをもとに、地域による交通手段や運行体系などを選択、料金設定を調整したのち、半年程度の社会実験を行う予定である。

今後、地域住民などと社会実験の成果や課題の共有化を図り、地域の特性に応じた生活交通の確保・維持をするため、地域と行政が支える持続可能な小さな交通の導入実現に向け、官民連携による取り組みを進める。

その他の主な質問

- ① 令和2年度の健都ふくしま創造事業推進に向けての取り組み
- ② 老朽管更新と水道施設の更新に向けての課題とその対策



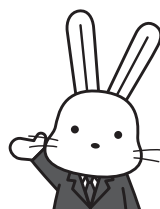
本会議の映像を配信しています

福島市議会では、代表質問や一般質問などの本会議の様子がご覧いただけるよう録画映像をインターネットにて配信しております。

パソコン端末だけでなく、スマートフォンおよびタブレット端末でもご覧いただけます。

また、本会議を行っている際は、ライブ映像の配信も行っておりますので、ぜひご利用ください。

市議会ホームページのトップ画面「議会中継」または右記のQRコードをお読み取りください。



- ③ 消防本部・福島消防署庁舎の建て替えの検討状況と令和2年度以降の取り組み
- ④ 各地区における除去土壌の現場保管解消の完了時期



ここが聞きたい!

一般質問Q&A

一般質問とは?
議員が、市民の皆さんの生活にかかわる身近な市政の課題に対して質問を行います。



行財政



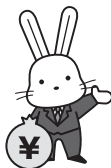
たばこ税の確保や増収

阿部 亨

Q 健康志向や喫煙規制の強化などの中で、税収面においてたばこ税の確保や増収にどのように取り組むのか。

A たばこの販売数量は年々減少しているが、国と地方を合わせるとたばこ税の税収は2兆円台で推移している。

市たばこ税は貴重な財源だが、市独自に増収に取り組むことは、健康増進を推進している立場から、極めて難しい状況である。



福島市・飯野町

まちづくり基本計画

黒沢 仁

Q 合併推進債のこれまでの具体的な活用と今後の方針は。

A 合併推進債は、市道整備事業、電算システムの統合、新斎場整備事業など福島市・飯野町まちづくり基本計画に基づき実施する事業に活用してきた。

令和2年度は、新斎場整備事業に加え、新規事業として飯野支所庁舎整備や飯野堰堤公園の遊歩道改修事業などへの活用を予定している。

今後も、国の基準に合致する事業などに対しては、合併推進債の活用を念頭におきながら飯野地域の振興を推進するとともに、本市全体のまちづくりを進めていく。



くらし・安全



窓口での

キャッシュレス決済

根本 雅昭

Q QRコードなどによるキャッシュレス決済を導入する自治体が増えているが、導入することについての見解とそのスケジュールは。

A 市民の利便性向上と職員の負担軽減のため、キャッシュレス決済の導入は有効であると考えている。

今後、決済方法も含め、導入に伴う費用や準備期間などを踏まえながら導入に向けて検討する。



消防団員の

活動内容と処遇

佐原 真紀

Q 機能別消防団員と現状の消防団員の活動内容や処遇などの違いは。

A 機能別消防団員は、主に日中の活動に限定して基本団員の活動を補完する役割を担い、支援団員、事業所団員、学生団員に分かれる。支援団員は、OB団員とし、住民の防火指導、火災防ぎよ活動、大規模災害活動、捜索活動を想定している。事業所団員は、勤務先の近隣で発生した火災の初期消火と後方支援を想定している。

学生団員は、火災予防や入団促進のPR活動、大規模災害時の後方支援を想定している。また、年額報酬は、1万2千円で、公務災害補償の対象となり、費用弁償は、基本団員と同様の1日2千円を支給する。

なお、退職報償金は、すべての活動に参加する基本団員の士気に配慮し、支給対象外とした。



避難所の

設備・環境の整備

村山 国子

Q 避難所を長期に開設する際は、福島市地域防災計画に沿った設備の整備、環境の整備を行うべきでは。

A すべての避難所で長期開設の対策を講じることは困難であり、例えば避難者が多い場合は、食材の保管をどうするかなど、現実を踏まえた検討が必要である。地域防災計画の見直しも含め、現実的で実効性のある計画の在り方を検討する。



産業・経済

オリンピックを契機

とした五葉松の活用

大平 洋人

Q オリンピックを契機に盆栽博覧会、講習会を新たに展開すべきでは。

A 盆栽は近年、世界的にも人気になっており、伝統文化や観光資源の発信などの観点から、生産者や愛好家などによる展示会や技術講習会など、盆栽を身近に感じられる取り組みがされている。市内でも、観光推進団体などによ

り、コケ玉づくり、自生地訪問ツアー、盆栽の技術指導などの体験活動を取り入れた合宿旅行など、盆栽に興味を持つ若年層をターゲットとする企画が実施されている。

このことから、盆栽ブームやオンラインピックを契機とした、普及活動や花觀光の取り組みが重要であると考える。



福祉・健康



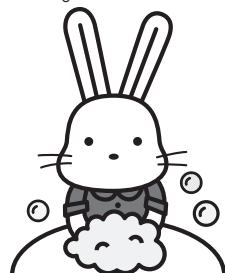
新型コロナウイルス感染症
対策本部の広報・伝達活動
羽田 房男

Q 新型コロナウイルス感染症対策本部からの市民、関係機関・団体などへの情報提供・周知方法・予防対策などは、ホームページ以外にどのような手段で広報・伝達を徹底しているのか。

A 市民への情報提供は、大変重要なものであり、報道機関に会議を公開し、資料を提供することで市民への周知に努めている。

また新型コロナウイルス感染症のリーフレットを高齢者施設や保育施設などの会議において配布し、予防対策などについて説明している。さらに、市長メッセージを4千2

百以上の関係機関・団体などに送付し、感染拡大防止と安全安心な市民生活の協力についてお願いした。



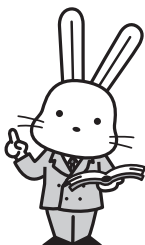
教育・文化



教員の働き方
佐々木 優

Q 教員に対し、1年単位の变形労働時間制は導入すべきではないのでは。

A 1年単位の变形労働時間制の導入にあたっては、業務の削減が前提であると考えており、現段階では、制度導入の考えはない。



十六沼公園サッカー場の
利活用
鈴木 正実

Q 天然芝コート整備を活用した交流人口拡大のための今後の具体的な取り組みは。

A 十六沼公園サッカー場は、競技力向上のための練習拠点や各種大会の開催に加え、全国規模の大

会誘致やスポーツ合宿を推進できるようなハード面での環境整備を図ってきた。

令和2年度には、官民協働でスポーツコミッションを設立し、大会や合宿の誘致などの取り組みを推進してスポーツを通じた地域活性化に取り組み。

大会や合宿の誘致には、充実した競技環境のアピールとともに、温泉・果物をはじめ、食や健康などの分野との連携を図りながら、福島市ならではの取り組みを体系的に取りまとめ、交流人口の拡大に努める。



ストリートピアノ設置に
よる音楽交流
小野 京子

Q 子どもたちに古関メロディーを継承するため、古関裕而作曲の校歌を弾くピアノとして、福島駅などにストリートピアノを設置しては。

A ストリートピアノを福島駅などに設置することは、古関裕而のまち・福島市のPRのためにも効果的だが、施設管理面、防犯や騒音の運営上の問題など多くの課題がある。今後、市民の機運の盛り上がりに

より、市民が主体となり組織化や事業計画の提示があれば、関係各方面との調整を図り、環境整備を考える。



新型コロナウイルスによる
市民生活への影響
山田 裕

Q 3月4日からの休校が小中学校の児童・生徒に与えている影響は。

A 突然の措置に対する児童・生徒の心身への影響、学習が学校で行えないこと、重要な行事が縮減されること、自主的な活動が制限されることなどが挙げられる。

臨時休業中は、家庭との連携を図り、電話による声かけや家庭訪問などにより健康状態の確認や心のケアに努める。

また、学習面では、必要に応じて新学期はじめに補充授業を行うなどの具体的な対応を学校に指導する。卒業式は、出席者を厳選し、時間短縮を図り実施する方向である。

そのほか対応が必要な事項も含め、児童生徒の健康や安全を第一に考え対応していく。



常任委員会・予算特別委員会分科会

※各常任委員会および各分科会に付託された議案審査並びに予算審査の主な内容を紹介します。

総務

◆議案審査

福島市消防団員の定員、任免、服務及び給与に関する条例の一部改正

消防団の組織体制の強化および基本団員の負担軽減を図るため、機能別団員制度を導入する。

機能別団員は、基本団員の活動を補完する役割を担い、支援団員、事業所団員、学生団員に区分され、特定の消防事務に従事する。



◆予算審査

防災情報配信システム（同報系）整備事業費

屋外スピーカー、戸別受信機、スマートフォンアプリなどによる情報発信の多重化により、住民の状況に合わせた様々な端末に対して、防災情報の確実な伝達を行うためのシステム整備を行う。

また、災害対策オペレーションシステム構築事業により、気象情報、雨量データ、河川水位、災害現場の映像情報などを一元的に把握・収集し、迅速かつ的確な防災情報を発信する。

文教福祉

◆議案審査

障がいのある人もない人も共にいきいきと暮らせる福島市づくり条例

ユニバーサルデザインの理念を包含したバリアフリー化を推進し「誰にでもやさしいまち ふくしま」の実現に向け、障害者基本法、障害者総合支援法、障害者差別解消法に基づく推進組織「福島市いきいき共生推進委員会」を設置し、共生社会の実現のための施策を総合的かつ計画的に推進する。

◆予算審査

福島型給食推進事業費

地域の関係団体や生産者などと連携し、学校や幼稚園・保育施設における給食への本市産農産物の使用拡大を図り、地産地消率50%を目指すとともに、子ども達の地産地消への意識を高める。

また、小中学校の給食費、幼稚園・保育施設の副食費の負担軽減を図る。



経済民生

◆議案審査

財産処分の件（福島おおぞうインター工業団地）

本市の工業振興と雇用創出のため、新たに造成した福島おおぞうインター工業団地の分譲区画2区画を立地を希望する企業2社へ売却する。

◆予算審査

古関裕而を活かしたまちづくり事業

古関裕而氏の功績や音楽を活かした新たな都市間交流のため、ゆかりのある自治体とのサミットを開催する。

また、商店街への回遊を促進し、中心市街地の活性化を図るため、古関裕而ストリーートの周辺に回遊拠点となる「古関裕而まちなか青春館」を設置する。



古関裕而記念館
(ふくしん夢の音楽堂隣)

建設水道

◆議案審査

未就学児緊急安全対策事業費

未就学児が日常的に集団で移動する経路における交通事故の発生を未然に防止するため、国・県・警察・施設管理者および本市が合同で実施した安全点検結果により、安全対策が必要な交差点への防護柵や車止めの設置、側溝の蓋がけなどの施設整備を継続して行う。



区画線とポール設置をした交差点

◆予算審査

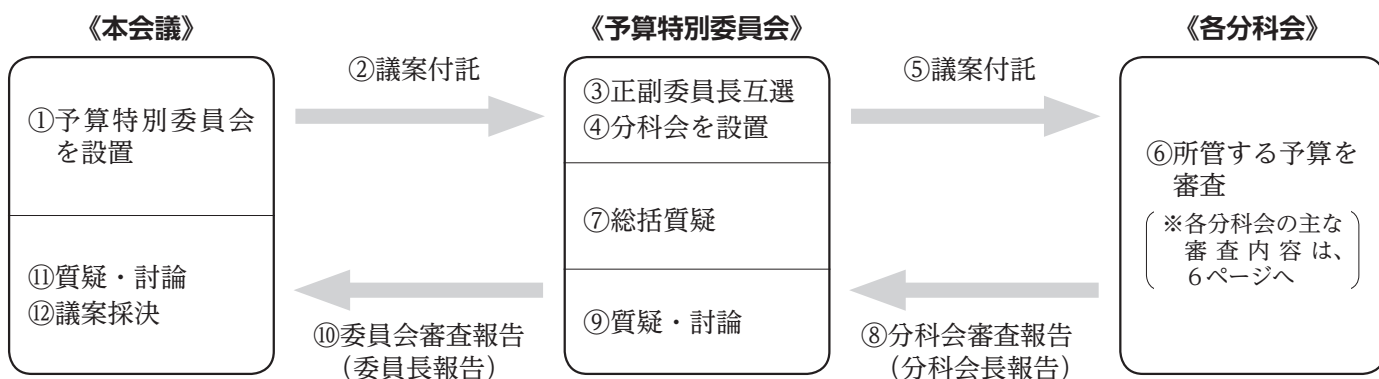
バリアフリー推進事業費

市域全体におけるバリアフリーのまちづくりの基本的な方針を示す、バリアフリーマスタープラン策定に取り組むため、高齢者や障がい者の方と共にまち歩き点検を行い、課題などを的確に把握する基礎資料を作成し、データの分析を行う。

令和2年度の予算を審査 ～予算特別委員会～

議長を除く34名の議員で構成する予算特別委員会を設置し、4つの常任委員会（総務、文教福祉、経済民生、建設水道）と新庁舎西棟建設調査特別委員会を単位とする各分科会において、新年度の予算審査を行いました。

予算審査の流れ

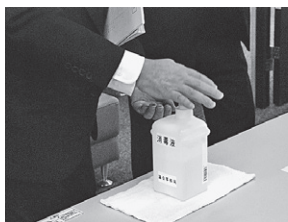


～新型コロナウイルス感染症の 拡大防止対策を実施～

3月定例会議は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、本会議の傍聴者の方に、マスクの着用と入場時の消毒液による手洗いにご協力をお願いしました。

また、委員会室は、傍聴席の距離を十分にとることや感染防止の対策を十分にとることができないため、感染拡大防止及び傍聴にお越しくださる皆さまの健康を守る観点により、委員会の傍聴を当面の間、中止しております。

今後、委員会の傍聴を再開する場合には、



福島市議会ホームページなどでお知らせいたします。

令和2年春季 議会報告会・意見交換会は 開催いたしません。

春季議会報告会・意見交換会は、毎年5月に開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催を見合わせることにしました。

今後の開催時期や会場などについては、改めて福島市議会ホームページなどでお知らせします。

皆様の健康を守る観点から、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。



令和元年秋季に開催した議会報告会・意見交換会の様子



3月定例会議で決まったこと

～議案等の議決結果～

QRコードから、
各議案の概要を
ご覧いただけます。



[市長提出議案 / 56件]

区分	件名	議決結果
令和2年度 予算案	福島市一般会計、福島市水道事業会計、福島市下水道事業会計、福島市農業集落排水事業会計、福島市国民健康保険事業費特別会計、福島市飯坂町財産区特別会計、福島市公設地方卸売市場事業費特別会計、福島市土地区画整理事業費特別会計、福島市介護保険事業費特別会計、福島市庁舎整備基金運用特別会計、福島市後期高齢者医療事業費特別会計、福島市青木財産区特別会計、福島市工業団地整備事業費特別会計、福島市母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計	○
令和元年度 補正予算案	福島市一般会計(第6号、第7号)、福島市水道事業会計、福島市下水道事業会計、福島市農業集落排水事業会計、福島市土地区画整理事業費特別会計、福島市庁舎整備基金運用特別会計、福島市後期高齢者医療事業費特別会計、福島市工業団地整備事業費特別会計、福島市一般会計(第8号)	○
条例制定案	福島市一般職の任期付職員の採用等に関する条例	○
	福島市森林環境整備基金条例	
	障がいのある人もない人も共にいきいきと暮らせる福島市づくり条例	
	福島市まちなか交流施設条例	
条例改正案	福島市議会議員及び福島市長の選挙における選挙公報の発行に関する条例	○
	福島市監査委員条例	
	議会議員の議員報酬等に関する条例	
	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	
	市長等の給与に関する条例	
	福島市手数料条例	
	福島市公設地方卸売市場条例	
	福島市印鑑の登録及び証明に関する条例	
	福島市客引き行為等の防止に関する条例	
	福島市保健所条例	
	福島市食品衛生法施行条例	
	福島市浄化槽保守点検業者の登録に関する条例	
	福島市都市公園条例	
	福島市営住宅等条例等	
	福島市道路占用料徴収条例	
	福島市下水道等事業の設置等に関する条例	
福島市水道事業の設置等に関する条例		
福島市消防団員の定員、任免、服務及び給与に関する条例		
条例廃止案	福島市子育て世帯応援に係る手当に関する条例	○
人事案件	固定資産評価審査委員会委員選任	○
	財産区管理委員選任(飯坂町財産区)	
	人権擁護委員候補者推薦	
その他	市道路線の認定及び廃止	○
	包括外部監査契約	
	工事請負契約の一部変更(渡利学習センター建築工事(建築本体))	
	財産処分(福島おおぞうインター工業団地(B区画))	
	財産処分(福島おおぞうインター工業団地(C区画))	
財産取得		

※議決結果欄

○→原案可決、同意、認定、採択 ×→原案否決、不同意、不認定、不採択





3月定例会議で決まったこと

～議案等の議決結果～

[委員会、議員提出議案 / 4件]

区分	件名	議決結果
一部改正案	専決事項指定	○
意見書案	新型コロナウイルス感染症対策の徹底及び支援を求める意見書	
	福島県の復興・創生に対する中長期的支援を求める意見書	
	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	

[請願・陳情 / 10件]

区分	件名	議決結果
請願	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出方について	○
	国に対し「選択的夫婦別姓の導入など、一日も早い民法改正を求める意見書」提出方について	×
	国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出方について	×
	消費税率を5%へ減税することを求める意見書提出方について	×
陳情	摺上川横断温泉管改修工事費支出の問題解消を求めることについて	×
	飯坂町財産区の温泉使用料滞納の解決に向けた対応を求めることについて	×
	市営公衆浴場「切湯」の廃止を求めることについて	×
	小児慢性特定疾病医療受給者への通院、入院時の交通費助成について	○
	市役所本庁舎西棟及びコンベンション施設建設をしばし凍結とすることについて	×
	福島市における受動喫煙防止対策の更なる推進のため市民への正しい周知・理解を徹底し取り組むよう求めることについて	○

※議決結果欄

○→原案可決、同意、認定、採択 ×→原案否決、不同意、不認定、不採択

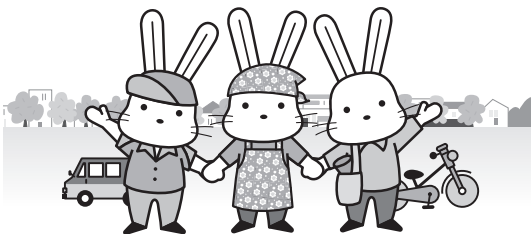


～定例会議初日に 議案を先議～

[令和元年度 福島市一般会計補正予算(第6号)]

台風19号関連及び国の総合経済対策に呼応し、速やかな対応を図るための議案として、先に審議しました。

市長の提案理由の説明の後、所管する常任委員会による審査を経て同日、原案のとおり可決しました。

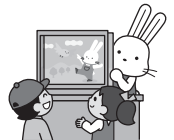


～新型コロナウイルス感染症対策関連の 追加議案を最終日に審議～

[令和元年度 福島市一般会計補正予算(第8号)]

～主な事業～

- ・ピンチをチャンスにプロジェクト事業費
(新型コロナウイルス感染症の影響の収束後を見据え、
集客力向上に向けて取り組む事業者を支援する)
- ・放課後児童健全育成事業費
- ・ファミリーサポートセンター運営費
- ・子育て短期支援事業費
- ・公立保育施設等新型コロナウイルス感染症対策事業費
- ・私立保育施設等新型コロナウイルス感染症対策事業費

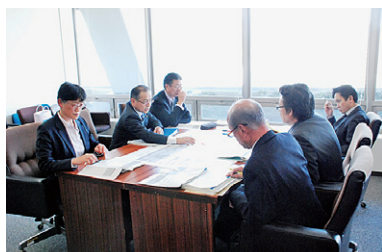


「新しい西棟の建設に関する提言」

～新庁舎西棟建設調査特別委員会～

3月25日の本会議で、これまでの調査結果に基づく委員長報告を行いました。
その後、報告に基づく提言書を議長から市長へ提出しました。

提言書では、新庁舎西棟の整備は、将来の社会変化を見据えた時間軸の視点を持ち、時機により機能変化が可能なフレキシブルな整備をもって進める必要があるが、多額の費用を費やすことから、経済的耐用年数をふまえたライフサイクルコストを速やかに算出し公開することにより、将来にわたり適正な整備内容であるかどうかについて、議会や市民が正確に判断し、新しい西棟の建設に向けた理解が得られるようにすべきであることを提言しました。



また、委員長報告において、平成20年に策定された計画で整備することとされていた全員協議会室については、議場などの他施設を利用することにより整備は不要とし、コスト縮減等につなげるなど新しい西棟における議会施設の整備に関する基本的な考え方についても報告しました。



～3月定例会議では、以下の議案を審査しました～

- ◆令和元年度福島市庁舎整備基金運用特別会計補正予算
- ◆令和2年度福島市一般会計予算中、新庁舎西棟建設関連予算分
- ◆令和2年度福島市庁舎整備基金運用特別会計予算

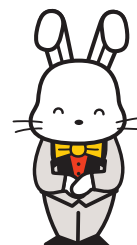


委員長報告はこちらから

6月定例会議予定

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	本会議 (定例日)	休会 (議案調査)			本会議 (一般質問)	
7	8	9	10	11	12	13
	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問) 議会運営委員会	本会議 (一般質問)	常任委員会 議会運営委員会	常任委員会	
14	15	16	17	18	19	20
	休会 (事務整理)	議会運営委員会 本会議 (採決等)				

QRコードから市議会のHPをご覧ください。



- ◆本会議、委員会は、午前10時から開会予定です。
- ◆日程、開会時間は変更になる場合があります。詳しくは、議会事務局(☎525-3776)までお問い合わせください。
- ◆6月定例会議で審査する請願・陳情の締め切りは、6月2日(火)午前11時です。

- ◆市議会広報に関するご意見をお寄せください。
〒960-8601 福島市五老内町3番1号
電話 024-525-3776 FAX 024-534-2520
福島市議会 広報委員会あて
- ◆市議会ホームページをご覧ください。
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/gi-soumu/shise/shigikai/>
発行：福島市議会 編集：広報委員会